

私学助成署名第1回中間集約 11県で計8182筆

私学助成署名が全国で始まり、10月3日の第1回中間集約では10県から報告があり、計8182筆となりました。新潟、青森は1000筆を超え、千葉、熊本などでも街頭署名の成果を集約しています。

この間「推進ニュース」等でお伝えしたとおり、「私学を含む高校授業料無償化」はもとより経常費助成の拡充についても、文科省も自民党もどこへ向かっているのか判断が難しい、つまり情勢は「不透明」な状況です。私たちの私学助成署名・請願の運動がまさに局面を開く、唯一の手段になっています。これまで以上に、「運動を強めれば情勢が動く。しかし運動しなければ情勢が動かない危険もある」ということです。

第1回集約(10/3)

青森	1,139
宮城	77
福島	20
栃木	21
千葉	816
新潟	4,265
福井	158
岡山	100
香川	213
高知	707
熊本	666
合計	8,182

次回集約は10/17(金)

11月末までに全国で100万筆をめざす

第58回中央委員会で、この情勢を私たちの手で動かしていくために、国向け署名は「11月末までに全国で100万筆」を目標にすることを決定し、各県へ「必守目標」を提起しました。これに応え、なかには各学園の自主目標を積み上げ、本部提起の必守目標を大きく上回る県集約目標を設定した県もあります。

「11月末までに全国で100万筆」を達成するためには、今回の集約はまだほんの小さな一歩を踏み出したにすぎません。あと2カ月弱で99万2000筆を集約する必要があります。機関会議で意思統一し、全学園に呼びかけ、署名運動を一気に広げていきましょう。次の国向け署名の本部集約日は10月17日(金)です。署名にとりくむすべての県からの報告をお願いします。



新聞「私学助成特別号」を配って学習を

不透明な情勢をどう捉えるか、そして今年の運動の要点は何か、を職場の仲間に伝えるために、新聞全国私教連の「私学助成特別号」を作成しました。9日までに各県に届きます。日頃

忙しくてあまり話さない同僚に「これ読んでね」とひと声かけて手渡すだけでも前進です。ただちに配布する体制を取り、職場の対話、学習を広げ、署名に踏み出す力にいきましょう。



神奈川私教連の秋の運動の「重点課題」のうち、私学助成に関する部分を紹介します。それぞれの県でどんなことができるか、参考にしてください。

- ① 各職場で助成金学習会を実施して、今年の署名の目的を生徒や父母に語れるようにする。
- ② 目標にこだわり、昨年と違う、新しいことに挑戦する。
- ③ 中間集約の日を設定して署名数を数え、目標達成のために次の手を打つ。
- ④ 組合員全員で助成金署名に取り組む。
- ⑤ 職場の全教職員に署名提出を依頼する。
- ⑥ 署名簿配布可能学園では全世帯からの署名提出をお願いする。学内の連絡手段を用いて、繰り返し生徒、保護者に提出を呼びかける。
- ⑦ 署名簿が配布できない職場では、全組合員、全教職員の取り組みにするとともに、生徒配布の努力をしたり、校外の団体に協力を要請したりする。
- ⑧ 職場で街頭署名を実施したり、私教連が取り組む街頭署名に最寄り駅の学園は参加したりする。
職場での実施要請：武蔵小杉、横須賀中央、藤沢、小田原
私教連主催：鶴見、横浜、大口、菊名、中山、長津田
- ⑨ 私学のつどい(11/3)で桜木町街頭署名に参加する。

★9月末学費滞納調査：10/17(金)締め切り迫る！

今年の私学助成運動にとって、無償化を主張する根拠として重要な資料になります。すぐに回収・送付の呼びかけを！

★2026春闘要求調査アンケートを職場の同僚に配ろう！

全組合員だけでなく、未組合員、未加盟校とも対話するチャンスです。気軽に広く協力をお願いします。